

警鐘レポート4 気管切開術後早期のチューブ逸脱・迷入による死亡

事例9

< 事例概要 >

- ・肺炎、人工呼吸管理中
- ・気管切開術翌日、背部の枕を外した後から呼吸器の分時換気量アラームが断続的に鳴動。SpO₂が低下し、吸引を試みたがカテーテルが入らず、気管切開チューブからバッグバルブ換気を開始。頸部から胸部にかけて皮下気腫を認め、経口挿管したが、アラーム鳴動から約2時間後に死亡。
- ・死因：換気不全。解剖無、Ai有。